

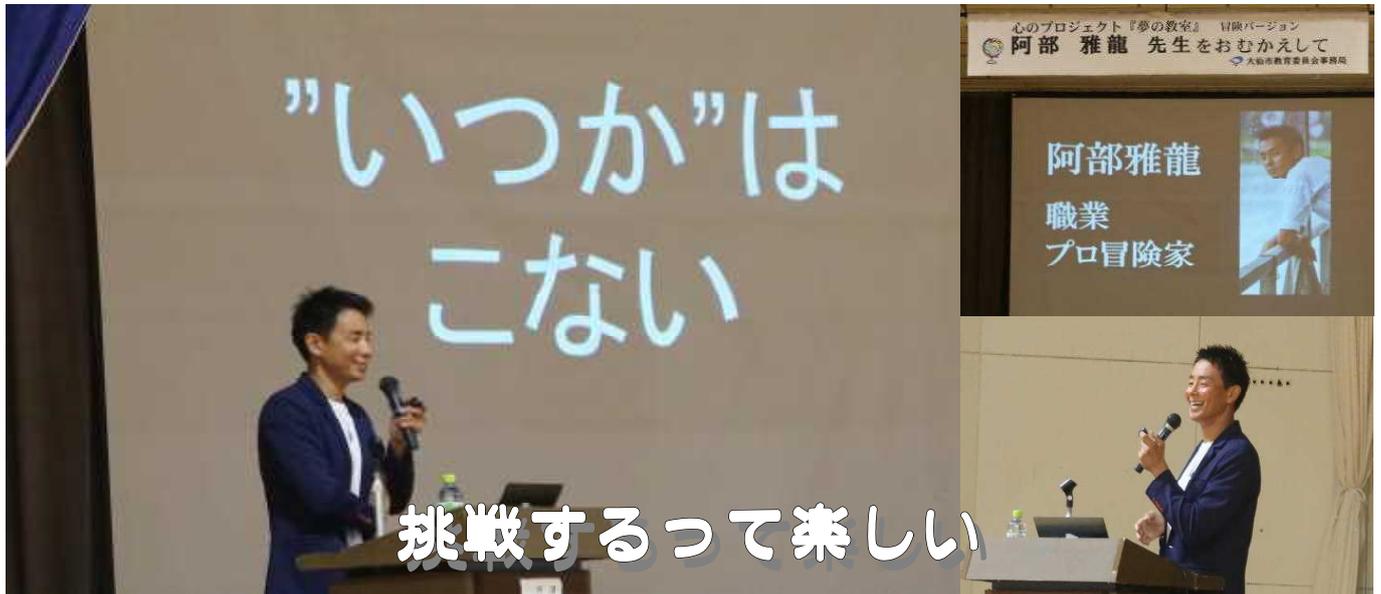


コツコツ とことん

大仙市立太田中学校
令和4年10月4日
NO. 74



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~



こころのプロジェクト「夢の教室」 第一線で活躍されている「夢先生」を講師に

大仙市では、毎年、その道の第一線で活躍されている方をお招きして、心のプロジェクト「夢の教室」を実施しています。全部で30校ある大仙市の小中学校ですので、市内全ての学校で実施できる訳ではありませんが、今年は、本校が該当校となり、「失敗や挫折を乗り越える心の強さ、夢をもつことのすばらしさとそれに向かって努力することの大切さを学び、自分の目標や夢の実現に向かって進んでいこうとする心情と態度を育てる」というねらいで、今日10月4日（火）に、プロ冒険家の阿部雅龍氏を講師にお迎えし、全校生徒が参加して開催しました。講師の“夢を追う男”阿部雅龍氏は、秋田県出身で、秋田大学在学中から全て人力単独行での冒険活動を開始し、数々のチャレンジをしてきました。その中の一部を紹介すると、2017年には、人力車をひきながら日本の一宮68箇所を巡る「リキジャジャパントラバース〜一宮68箇所人力車参り〜6400km」を達成しました。2019年1月には、日本人初踏破の「メスナールート」による南極点単独徒歩到達918kmを達成し、2021年、同じ秋田出身で、約100年前に南極点到達を試みた白瀬中尉の足跡を辿り、誰も踏破したことがない「白瀬ルート」での単独徒歩を試みましたが、悪条件が重なり途中で断念、初の失敗を経験しましたが、「夢の実現に向かってチャレンジする勇氣、逆境を力に変えて進んでいく姿と行動力は植村直己さんの生き方に通じる」との受賞理由から2021年植村直己冒険賞を受賞しました。

令和4年6月13日（月）に佐竹知事を表敬訪問した際には、この11月から、前回引き上げた地点からの南極点到達に再挑戦する思いを伝えました。知事との面会后、阿部氏は「失敗しても立ち上がり、それでも夢を叶えることができるということを次の冒険で証明したいです。ぜひ南極点に秋田県の旗を立てたい」と意気込みを語ったそうです。

阿部氏のインタビュー記事を目にしました。その中で、「なぜ冒険に行くのか？」という質問への答えの中で、次の言葉が強く印象に残っています。「…『我れ無くも かならず探せ 南極の 地中の宝世にいだすまで』これは白瀬隊長の辞世の句です。…僕は白瀬隊長が地中に埋めた宝は挑戦心ではないかと考えています。その思いを受け継ぎ、人類初の冒険に成功することで、100年以上経っても人の夢は引き継がれていくことを証明したい。ですから、僕の冒険は、人の意志を継ぐ挑戦です。当然、死が隣り合わせの厳しい闘いになりますが、それは僕に限らず、ビジネスマン、アスリートなど、皆それぞれの場で命懸けて闘っています。ですから、僕は自分の挑戦すべき冒険の場で命を懸けて生き切りたいと思います。」



大小は違えども、太中生一人一人にも“夢”があるはずです。自分の“夢”を追いかける強い気持ちを持ち続け、達成するための行動を続けていくことの大切

さ、尊さ、強さを感じてくれたことと思っています。“夢”を追いかける気持ちや行動は、まさに本校の校訓「継続と徹底」であると感じた阿部さんの講演でした。

保護者の皆様にも、ぜひ聞いてほしい講演でしたし、講演の内容を全て載せることもできませんので、阿部さんの講演の内容について、子どもたちから聞き、家庭の話題にさせていただけたらと思っています。

